

【令和8年度 1学期始業式 校長式辞】

あらためまして、皆さん、おはようございます。
新しい学年が、いよいよ始まりました。

2年生、3年生の皆さんは、これから学校の中心となって活躍する1年を迎えます。
特に3年生にとっては、高校生活最後の1年です。
この1年間で、かけがえのない時間となるよう、一日一日を大切に過ごしてください。

さて、今、私たちを取り巻く社会は、かつてないほどのスピードで変化しています。
未来の予測が難しく、「正解」が見えにくい時代です。

だからこそ皆さんに身につけてほしいのが、
「自ら考え、判断し、行動する力」です。

受け身の姿勢では、この時代を生き抜くことはできません。

では、その力はどのように育つのでしょうか。

ここで、メジャーリーグで活躍する 大谷翔平 選手の話をしてします。
彼は世界的なスーパースターですが、その行動には私たちが学ぶべき点があります。

中でも有名なのが「ゴミ拾い」です。
どれほど活躍した試合のあとでも、目の前にゴミがあれば、さりげなく拾う。

特別な才能がなくても、「ゴミを拾う」ことは誰にでもできます。

しかし、実際にはどうでしょうか。
多くの方が、できていないのではないのでしょうか。

「すごい人のすごい行動」には憧れる。
でも、「すぐにできる行動」は後回しにしてしまう。

その小さな差が、やがて大きな差になります。

大谷選手はこう考えているそうです。
「落ちているゴミは、誰かが落とした運。拾えば自分に運がやってくる」

行動に意味を与えることで、行動は習慣になります。

実は私自身も、日々試される瞬間があります。
ふと足元に現れるゴミ。

「拾うのか、拾わないのか」

その一瞬の選択が、自分の在り方をつくっていくのだと感じています。

さて、皆さんはこの1年をどのように過ごしますか。

3年生の皆さんは、部活動のラストシーズン、そして進路選択の時期を迎えます。
自分の未来と向き合い、考え、決断していく1年になります。

2年生の皆さんは、学校の「核」となる存在です。
皆さんの言動一つ一つが、学校の雰囲気をつくります。

授業での発言、掃除、友人との関わり、部活動での姿勢。
そのすべてが、「考えて行動する」ことです。

日々の小さな選択の積み重ねが、皆さん自身を形づくっていきます。

うまくいったことも、そうでなかったことも、
すべてが、これからの自分をつくります。

新しい一年に向けて、ぜひ自分自身で考えてください。

「自分はどんな人間になりたいのか」
「そのために、この一年をどう使うのか」

与えられるのを待つのではなく、
自分で自分の一年をつくること。

そして――

人との出会いを、大切にしてください。

さあ、新しい学期が始まりました。

これからの毎日をどう過ごすかは、皆さん自身の選択にかかっています。

「自ら考え、判断し、行動すること」を習慣にし、
自分の未来を、自分の手で切り開いていってください。

そして、その一つ一つの行動が、
自分と、自分のまわりの人々の幸せにつながるものとなるように、
日々を大切に積み重ねていってください。

うまくいかないことの方が当たり前です。
だからこそ、まずは一歩踏み出し、失敗から学んでください。

そして、生徒の皆さんから

「フジコウっていいよね」
と、さらに言ってもらえる学校になるよう、私も努力を続けていきます。

皆さんの声を、ぜひ聞かせてください。
校長室で待っています。

最後に、皆さんにこの言葉を贈ります。

――人のせいにするか、自分で動くか。
その選択が、あなたの生き方を決めます。

それでは、皆さん一人一人の成長を、心から楽しみにしています。